



# しののめYMCAこども園 園だより

2023年度 7月号

発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」  
わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。  
これがわたしの掟である。

7月聖句 主よ、朝ごとに、わたしの声を聴いてください。

詩編 5篇 4節

爽やかな風と梅雨の合間の日差しが夏への暑さを感じさせた6月でした。

子どもたちはこども園でのそれぞれのペースをつかみ、それぞれのペースで自分の遊びを見つけています。遊びにおいても沢山の違いが見られますが、それはどれも十分に大切にしたい一人ひとりの様子です。

コロナ渦が落ち着いてきた昨今、ある日、園庭や教室の子どもたちの様子を見に行った時に思うことがありました。「だっこ、おんぶ、膝の上に乗ってくる園児が少なくなったかな?!」と。コロナ渦で育った子どもたちは、他者との接触に慣れていないのではないかと、他者と触れ合うことがよくないこととと思っているのではないかと、そのようなことが頭をよぎりました。毎朝、園庭門で登園する親子をお迎えしています。笑顔、声、ハイタッチの3拍子揃った朝の挨拶で、子どもたちをお迎えし、コミュニケーションを図っています。

1学期の体操のプール、年中クラス・年長クラス、無事に終了しました。夏前に体操のプールが実施されたのは3年ぶりでした。水の事故の多くはこれからの時期に発生します。YMCAでは水上安全教育として「水の事故から身を守ること」、つまり「自分の命は自分で守る」ことについて伝えていきます。子どもたちの住んでいるエリアは水辺の多い地域です。水の事故が発生する可能性があります。もし、川に落ちてしまったら、遊びに行った海で足がつかなくなったら・・・助けを求めることは大変難しいです。呼吸の確保のために浮き身の姿勢を保つことが重要です。そして長く浮けていることが助けてもらえる可能性を最大限に引き出します。最後の体操のプールでは、このような意図から浮き身の姿勢の練習をしました。アームヘルパーをしながらですが、体をリラックスさせ上手に浮き身の姿勢を保ち長い時間浮くことができました。暑い夏がすぐそこまで来ています。水のプログラムの季節です。安全にお過ごしください。

季節の変わり目、寒暖の差が大きく、子どもたちの体が対応できないように思えます。6月もお休みの子どもが多かったです。降園後のご自宅の生活においても休養をお願いいたします。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

園長 草分俊一

